



大牟田市一の浦町に伝えられる囚人墓地。
(1号から70号まで数えられるが、その謎は……)

影の照り

囚徒おぼえ書 (連載第一回) 武松輝男

『まるで、垣根杭のようだね』
一の浦の囚人墓地は、西側の十センチ角の十一基が一般人の墓地との境界にみえる。東側の十八基は、道路と墓地とを区別するよう立って立っている。中央の二十二基は、囚人墓地を北から南へ、墓地を二分する形で並べられている。

高さは一尺余りである。色は黒い。なかば沈みかけたり、倒れかけたりしたものもある。このように高さや形の不並びさが、かえって長い年月を添った古の墳墓杭に見える。

『五十一基だね』
『そうだ。五十一基だね』
『君ね、ほんとにこれは囚人墓地か』

菊が満開です。早も十一月。紅葉もきれいです。
大相撲九州場所も真々盛中で、けと三池には、大災害という、まことに残酷なことがあった日がありました。

三池にまた全国集會に参加された青年諸君と出合って、幼い頃正月を迎えるときのような、楽しいうれしき三日間でした。

三池にまた来た皆さんは、それぞれ三池病にかかって帰られると聞か、私も同様で、交流をくり返すうちに感動感激痛にかかるとも、一時の明は消え、終生私の胸の中へはばりついて離れないもので、これからの私の闘いや運動のための糧となるでしょう。さ

なかで一番困ることは、人間の弱さではないか。選り好みも自分自身の考え方、生き方の切り替えができない。ちょっとしたつまみ食いでも、もとの監獄時代の荒れささんだ生活にもどつとすると。ネ、だから、生き方を要するには、昔の生活を全部捨てなければ、とてもできない。そこで放免囚は生きるために、選り好みの源氏名であつた囚人番号とともに、この墓地に葬ってしまった。それがこの囚人墓地ではないか』

『放免囚を埋めたというのか』
『いや、それも違うのではないか。これも仮定だね。囚人が刑期満了か恩赦で放免されたとき、全部の放免囚が卒塔婆を立てたというのではなからう。しかし、ここに卒塔婆を立てた放免囚の必死の形相が、卒塔婆の荒れた姿に映し出ている。それは影の照りであった。』

『お互いにかわっているようにだよ、想像以上に陰鬱なものだ。選り好みの源氏名がついてまわる。』
『ういてまわるだけならまだよい。なにせ狭い炭坑社会の範囲だからだ。しかし、そうした選り好みの源氏名が、囚人以外の生き物にまで、あつてはならない。』

『三池にまた来た皆さんは、それぞれ三池病にかかって帰られると聞か、私も同様で、交流をくり返すうちに感動感激痛にかかるとも、一時の明は消え、終生私の胸の中へはばりついて離れないもので、これからの私の闘いや運動のための糧となるでしょう。さ

地底

○一九八〇年十一月一日おしせまつてきました。わたたくした炭坑労働者にとつて最大の痛恨事は「夕張新鉱災害」と三池の落盤災害でした。他にならって十六二一を運ぶとすれば、残念ながら災害や事故が並ぶことになるでしょう。

○…今年一月二十日の、はがきが倍になるといふ値上げからはじまった。まったくいやな手紙がきましたが、資金も期手も横ばいとあれば、物価高だけが吹き抜けていく寒い冬になることは確かです。こんなときに風邪でもひけば後遺症がひどいので、どうぞご用心。

○四月、米原藩の「日丸」当て逃げというのがあります。驚いたのも束の間、ライオン一発言などで日本も「核のカサ」などといっておれない事態となりました。軍拡は必然的に戦争を想定し、戦争は核の悲劇を構成するといふ果てしないシナリオが書かれていることを、忘れてはならないでしょう。

○労働戦線統一が「新聞ダネ」になりました。合理化、首切り、賃下げで、また命を奪われている労働者が、お仕着せの「産報」的労働組合に喜んでいくことも本気で思っているのが不思議。これははじめから戦線統一などお題目を唱えぬ方がよかつたと思つた。

○…来年のことを書く「鬼」が笑うというが、ひとつ先のことを見通して「鬼」を笑わせましょう。

○投稿ありがとうございます。三池にまた来た皆さんは、それぞれ三池病にかかって帰られると聞か、私も同様で、交流をくり返すうちに感動感激痛にかかるとも、一時の明は消え、終生私の胸の中へはばりついて離れないもので、これからの私の闘いや運動のための糧となるでしょう。さ

○投稿ありがとうございます。三池にまた来た皆さんは、それぞれ三池病にかかって帰られると聞か、私も同様で、交流をくり返すうちに感動感激痛にかかるとも、一時の明は消え、終生私の胸の中へはばりついて離れないもので、これからの私の闘いや運動のための糧となるでしょう。さ

○投稿ありがとうございます。三池にまた来た皆さんは、それぞれ三池病にかかって帰られると聞か、私も同様で、交流をくり返すうちに感動感激痛にかかるとも、一時の明は消え、終生私の胸の中へはばりついて離れないもので、これからの私の闘いや運動のための糧となるでしょう。さ

○投稿ありがとうございます。三池にまた来た皆さんは、それぞれ三池病にかかって帰られると聞か、私も同様で、交流をくり返すうちに感動感激痛にかかるとも、一時の明は消え、終生私の胸の中へはばりついて離れないもので、これからの私の闘いや運動のための糧となるでしょう。さ

○投稿ありがとうございます。三池にまた来た皆さんは、それぞれ三池病にかかって帰られると聞か、私も同様で、交流をくり返すうちに感動感激痛にかかるとも、一時の明は消え、終生私の胸の中へはばりついて離れないもので、これからの私の闘いや運動のための糧となるでしょう。さ

○投稿ありがとうございます。三池にまた来た皆さんは、それぞれ三池病にかかって帰られると聞か、私も同様で、交流をくり返すうちに感動感激痛にかかるとも、一時の明は消え、終生私の胸の中へはばりついて離れないもので、これからの私の闘いや運動のための糧となるでしょう。さ

おぼえ書

おぼえ書、(ご保存なのか)に「正しく生きる」こと、また夫ありがと何かを求めてページを繰る日、うらやましくとかく平凡な生活に流されて指す。お針に迷えば、おぼえ書がこたえてくれるのです。

ページを繰るとき

「みいけ」がこたえる

一定年退職者の妻

筆名は「雅」

たのしみ、近くの小学校から子どもたちの元気な声が飛び込んで来る家に住んでます。夫と二人の静かな生活にも寂しさは感じません。それぞれに趣味を求めて食し、くとも、満ち足りた生活といえるでしょう。

長い年月を添えて変色した新聞

本所の会から教えて貰った

編集部

編集部

編集部

まなぶの青年達よ 来年も待っています

CO患者家族 猿渡ハギエ

三池にまた来た皆さんは、それぞれ三池病にかかって帰られると聞か、私も同様で、交流をくり返すうちに感動感激痛にかかるとも、一時の明は消え、終生私の胸の中へはばりついて離れないもので、これからの私の闘いや運動のための糧となるでしょう。さ

沖繩旅行団帰る

定年退職を記念して、沖繩にむけて旅立った旅行団七十人は、全無事で九日夕刻帰着しました。旅行団の行動は、現地のテレビ